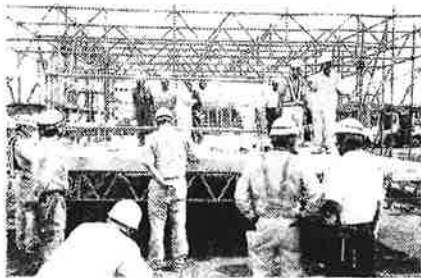


建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2014



鶴岡防災ステーションで行わ

日綜産業が、米最大手仮設
メーカーのセーフウェイ社と
川国道事務所発注工事の施工
会社などで行く鶴岡国道安
全衛生協議会と月山道路工事
連絡調整協議会が主催した。
クイックデッキは、ゴール
現など、高い安全性と施工性

ラズ構造による高い強度、快
適な作業空間の提供、ユニッ
トの吊り込みによる高所作業
の激減、跳ね出し作業床の安
全かつスピーディーな施工実
現など、高い安全性と施工性

が、鶴岡国道維持出張所
(阿保和徳所長)と月山国道
維持出張所(松田道雄所長)
に働き掛けて実現した。
この日は、阿保所長が「協
議会には安全衛生の取り組み
に努めてもらっているが、今
回は東北では使用実績がない
吊り足場の新工法を取り上げ
ていただいた。管内で補修が
必要な橋梁が増えていく中、
事故防止や安全衛生の確保に
つなげることを期待してい
る」とあいさつした。

上野会長は「カタログを見
てすごいと思い、協議会の会
員にも紹介したいと考えた。
東北ではまだ実績がないが、
ぜひ会員に採用してほしい」
と話している。

上野会長は「カタログを見
てすごいと思い、協議会の会
員にも紹介したいと考えた。
東北ではまだ実績がないが、
ぜひ会員に採用してほしい」
と話している。

衛安
道説
国が
鶴岡
協

吊り足場新工法に関心 人力で簡易な組立て

デンゲートブリッジなど世界
の名だたる構造物での採用実
績が蓄積されたノウハウに、
日本国内での厳しい安全基準
と施工条件をクリアできる能
力を融合させた吊り足場。人
力での簡易な組み立て、ト

効率性を発揮する。
国内では既に4現場で採用
されているほか、現在、20件程
度の引き合いがあるという。
説明会は、同工法の優位性
を知らした鶴岡国道安全衛生協
議会の上野歳一会長(浅賀建

を紹介した後、屋外で組み立
と話している。

を紹介した後、屋外で組み立
と話している。